

1 運営協議会の開催状況 ※ひとつづくりネットワークと共催ではなく単独で開催した学校運営協議会についても記載

回数	月日 (曜)	参加者数	議事内容 (テーマ・話題)	会の持ち方の工夫、成果・課題 等
第1回	5/31 (金)	12名	学校経営方針・現状 本年度の事業方針について 予算・今後の予定について	学校運営協議会と兼ねて開催。初回、地域の方と学校とで、できること、役割について協議した。また、今後、具体的にどのような取組ができるか等について協議していきたい。コミュニティースクール移行に伴い、熟議の会の開催する旨を伝えた。
第2回	12/6 (火)	11名	児童の様子について	学校運営協議会と同日開催することで、学校運営協議会委員の負担軽減につながった。熟議の会を受けて、「めざす子ども像」を共有し「具体的な取組案」について協議した。
第3回	1/30 (木)	10名	学校の取組について 学校評価について	今年度の取組、学校評価についての報告。次年度の学校運営協議会のもち方について協議・情報共有した。

2 懇談会の開催状況

回数	月日 (曜)	参加者数 [主な所属 (内訳)]	議事内容 (テーマ・話題)	会の持ち方の工夫、成果・課題 等
第1回	7/24 (水)	21名 「学校運営協議会熟議の会」 学校運営協議会委員・地域・保護者・教職員	めざす子ども像の共有 テーマ『自分から進んで人と関わり 地域とつながる子ども』 取り組めそうな活動について協議	地域・保護者・学校と、目指す子ども像の共有を行い、テーマを決定した。取組可能な活動についてあげ、できることから進めていく。テーマ・ボランティアの方々を知ってもらうための校内掲示物を作成する。いろいろな立場の方々とグループ協議を行うことで、方向性が少し定まったように思う。
第2回	12/17 (水)	26名 [ひとつづくりネットワーク懇談会] 講師 (地域の方)・学校運営協議会委員・5・6年児童	総合的な学習の時間の学習「キャリア教育」を受け、地域の大人の方にお話を聞く。	子どもたちに、「働く」ことの大切さや、社会の一員として役立つ大人になってほしいという思いを話していただくことで、子どもたちは、「就きたい仕事」「働くこと」「将来の夢・目標」について、考えを深めることができた。教育課程にどのように位置づけていくかが課題。

3 めざす子ども像 (地域像、学校像、家庭像等)

<p>テーマ『自分から進んで人と関わり 地域とつながる子ども』                  〈学校〉 明るい子・思いやる子・のびゆく子                  失敗を恐れず、いろいろなことに挑戦していく。地域の大人・他校の児童等、いろいろな人と関わっていく。相手を意識して、自分の思いや考えを伝えようとすすととともに、その場・その時に応じた挨拶や言葉遣いができるようにしていく。                  〈地域〉 今まで取り組んできた取組をブラッシュアップしていく。地域との関わりをさらに密なものにしていく。(地域行事への積極的な参加)</p>
---

4 めざす子ども像の実現に向けた地域学校協働活動のアイデア

懇談会を開催 (地域・保護者・教職員、地域・児童) し、意見交流を行う。  
地域行事に児童が参画していく。

5 地域学校協働活動の実施に係る主な連携及び支援団体

公民館・青少年を育てる会・社会福祉協議会・まちづくり協議会・葡萄浪漫館等

◆めざす子ども像（地域像、学校像、家庭像等）

テーマ『自分から進んで人と関わり 地域とつながる子ども』校外でもしっかり挨拶ができる。その場・その時に応じた言葉遣いができる。地域の行事等に進んで参画し、いろいろな世代の人とつながる。他校との交流をし、大集団の中でも自分の意見を言えるようになってほしい。

◆活動の様子



7/24（水）熟議の会  
ゲスト：ひとつづくりネットワーク運営協議会員・保護者・地域の方  
教職員も参加して、地域の方・保護者・学校運営協議会委員が一堂に会し、グループ協議・情報交換を行った。「めざす子ども像を共有し、テーマを決定することができた。」



10/25（金）オープン参観日  
3・4年生は、井原の魅力について学習し、保護者にも伝えたいという思いから、オープンスクールでデニムワークショップを行った。



10/25（金）オープン参観日  
5・6年生は、「収穫感謝祭あたごっち」に向け、幼稚園児も招き、プレワークショップを行った。



11/26（日）「収穫感謝祭 あたごっち」  
クッキー販売、ワークショップ、フォトコンテストの3種ブースを出店。



10/15 町たんけん  
1・2年生は、青野中央選果場・葡萄酒浪漫館公民館の見学を通して、教えてもらったり質問したりして、地域の方と関わりをもつことができた。



6/7（金）第1回ふるさと先生『南極で活動して』  
ゲスト：本校保護者（海上自衛官）  
全校児童を対象に、海上自衛官として、南極への派遣を希望した理由、南極での活動について写真や南極の氷の実物を見せていただきながら、分かりやすくお話をいただいた。初めて見聞きすること、迫力のある写真等に、児童は興味深く聞き入っていた。



12/17（水）ひとつづくりネットワーク懇談会  
ゲスト：講師（地域の方）・ひとつづくりネットワーク運営協議会委員・5・6年生児童が、総合的な学習の時間に学習した「キャリア教育」を受け、地域の方を講師に迎え、職業観についてお話をいただいた。



10/10（木）第2回ふるさと先生『音楽と私～マリンバに魅せられて～』  
ゲスト：本校学習支援員他2名  
全校児童を対象に、マリンバ・トランペット・ピアノの合奏、幼いころからの音楽との関わりの中で培ってきたこと、将来への思い等を、熱く語ってくださった。児童にとって身近な人のお話は、より心に響くものがあった。



◆成果（○）・課題（△）・来年度に向けて（☆）

○ひとつづくりネットワーク運営協議会・学校運営協議会では、児童や担任の参加が難しかったが、夏休み中に実施した「熟議の会」で、地域・保護者・全職員とが一同に会し協議をすることの意義は大きかった。共通のテーマを設定することができ、具体的な取組可能な活動についても話をすることができ、今後の活動の方向性をもつことができた。

○『与一太鼓』の継承に向けた活動が、地域主体で行われるようになり、地区の文化祭での披露につながった。今後も、この活動は引き継がれていくものと思われる。

△意欲的に活動したり自分の思いを表現したりする児童が増えてきた反面、何をどのようにすればよいのか、考えが及ばない児童との差が広がっているように思われる。持続可能な取組にしていくためにも、教育課程にどう位置づけていくかが課題である。また、児童の思いを取り入れた取組を進めていくために、「熟議の会」での児童の生の意見を聞く場の設定が必要である。

☆作成した「地域連携表」の更新をし、ひとつづくりネットワーク運営協議会委員・学校運営協議会委員とも共有し、目指す子ども像の実現に向けて、地域・保護者・学校それぞれの役割を明確にしていく。今後も、取組の様子を、学校だより等で、地域・家庭への周知徹底（情報共有）を図っていく。

☆来年度は、「熟議の会」への4年生以上の児童の参加を考えている。また、より多くの保護者にも参加してもらえるように、既に開催日を設定、周知している。

☆地域との関わりを大切にするためにも、普段からの児童の時と場に応じた挨拶や言葉遣いの強化についても、地域・家庭・学校が連携して取り組んでいく。